

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		15 07 02	中期総合計画主要施策番号		4-02	担当課	部・課	教育委員会事務局文化財・生涯学習課		
事業名		県立長野図書館事業					内線	4404		
							E-mail	bunsho@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	県民の自主的な生涯学習活動の支援を行うため、市町村立図書館及び図書館未設置町村の公民館図書室と連携し、県民が必要とする県立図書館サービスの公平及び効率的な提供を図る。								
	事業の必要性	<p>[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]</p> <p>情報化や技術革新の進展に伴い、新たな知識を常に学習するため、図書館サービスに対する期待は高いが、図書の年間出版数が莫大であるため、県民の要望に十分対応できない状況である。また、調査相談や相互貸借等の図書館サービスについては、サービス内容が県民に十分理解されていないことなどのため、有効活用が図られていない状況である。</p> <p>[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の年間出版数が莫大であるため、県民すべての要望に応えるには多額の費用を要する。</li> <li>・利用者からの要望の把握及びその要望にそった弾力的な運営について十分な検討がされてきていない。</li> <li>・貸出サービス以外の図書館サービスについては、利用者及び利用団体等へ積極的なおかつ具体的な広報が行われてきていない。</li> </ul> <p>[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村立図書館との役割分担をより明確化し、県立図書館として真に必要なサービスの提供に努める必要がある。</li> <li>・県民を対象とした意識調査等を実施し、県民に役立つ図書館となるための具体的な運営方法等を検討する必要がある。</li> <li>・市町村・関係団体との連携や様々な媒体を活用し、「地域を支える情報拠点」としての図書館を周知する必要がある。</li> </ul>								
		事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村と連携したサービスの展開(相互貸借、調査相談、横断検索システム)</li> <li>・来館者サービスの充実(調査相談)</li> <li>・図書の充実(専門図書、外国語資料、郷土資料等)</li> <li>・県民の多様なニーズに対応した図書館サービスの展開(インターネット予約貸出サービス等)</li> </ul>							
		実施期間	S25 ~	根拠法令等	社会教育法、図書館法、県立長野図書館条例					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
貸出対象図書の拡大、貸出時間の延長や図書返却方法の改善により、個人への貸出冊数、公共図書館等との相互貸借冊数及び調査相談件数の増加を図る。		・個人への貸出冊数、相互貸借冊数及び調査相談件数について、前年増を達成する。 ・図書館のサービス向上を図り、県民のニーズに応えるため、新システムを導入する。			新システム導入のため開館日数が前年度より12日少なかったため、相互貸借冊数及び調査相談件数は前年をやや下回ったが、個人への貸出冊数については前年増となった。 平成21年3月3日、公共図書館の横断検索システム等が稼動した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	119,249	100,860	107,534	国庫・県単	県単		
	決 算 額 (B)		千円	116,746	93,901		実施方法	直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	115,436	92,620	106,184	歳出節別内訳等	需用費: 54,350 委託料: 15,126 使用料: 12,312		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	25.50	24.50	24.50	(単位: 千円)	(H21への繰越額: 4,095)		
	概算人件費 (C)		千円	182,070	175,151	175,151				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	298,816	269,052	282,685					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	貸出冊数		冊	171,490	172,882	174,000	・月2回メールマガジンの発信 ・図書館ボランティアの受入れ			
	相互貸借冊数		冊	7,571	7,443	7,600				
	調査相談件数		件	11,117	10,590	12,000				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・自主的な学習活動を支援する県立図書館サービスへの要望が強い。 ・今まで同様、市町村立図書館との役割分担及び連携支援の充実を図る。 ・公共図書館間のネットワーク化により図書資料の貸出しや相互貸借などの有効性・効率性を高めることができた。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		平成21年3月3日から、公共図書館の横断検索システム等が稼動し、システムに参加した図書館の所蔵情報が共有化され、希望する本がどの図書館にあるか検索できるようになり、県民に対するサービスの向上や各公共図書館図書の有効活用が図られるようになった。 今後、このシステムの利用を含め、図書館サービスについて利用者及び利用団体等へ積極的かつ具体的な広報を行う。							